

東京外国語大学総合国際学研究院 教員公募
南アジア（ヒンディー語圏）言語文化論

1. 職名・募集人数

講師（テニュアトラック）1名

2. 所属

世界言語社会教育センター

3. 勤務地

（雇入れ直後）東京都府中市朝日町 3-11-1 東京外国語大学府中キャンパス
（変更の範囲）変更無し

4. 担当予定科目等

（雇入れ直後）

- (1) 大学院総合国際学研究院博士前期課程世界言語社会専攻・言語文化コースの科目
- (2) 学部の担当予定科目は、以下のとおりです。
 - ・世界教養プログラム科目（専攻言語科目（ヒンディー語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）など）
 - ・言語文化学部専修プログラム科目（導入科目、概論科目、専門科目など）その他、年度によって必要な科目ないしはリレー講義の一部
- (3) その他大学の教育、研究、入試、社会貢献及び運営に関する業務

（変更の範囲）

雇入れ直後と同じ

5. 専門分野

ヒンディー語圏を研究対象とする、文学、宗教学、人類学、言語学、その他の地域文化研究

6. 応募資格

専門分野に関し、極めて高度な教育研究上の指導能力を有し、書類の提出時において以下の全ての要件を満たす方とします。

- 1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む）を有する方、または博士学位取得計画を具体的に提出することができる方
- 2) 専門分野においてヒンディー語の資料を用いた研究業績を有し、ヒンディー語圏の文学、宗教（ヒンドゥー教）、文化、思想などについて幅広く教育・研究を行うことができる方

- 3) ヒンディー語の運用能力を有し、ヒンディー語（専攻言語科目）の教育を行える方。
高等教育機関において非母語話者へのヒンディー語教育の経験がある方が望ましい
- 4) 日本語、英語のいずれでも授業（講義・演習及び論文指導）ができる方
- 5) 国籍は問いませんが、日本語、英語のいずれでも支障なく、協働して校務を行える方
- 6) 本学の教育理念に合致した教育活動ができ、かつ、大学の行事・業務・運営等に積極的に関与できる方

7. 採用予定日

2025年4月1日

8. 任期

採用日から4年間

4年目に行われる審査においてテニユアの付与が認められた場合は、任期の定めのない教員に移行します。テニユアの付与が見送られた場合は、転出等の準備のために、最長1年間任期を延長することができます。

9. 待遇

(1) 給与

年俸制（年俸額は職務経験や業績等に基づき決定し、年俸額を12月で割った額を毎月支給）税金及び社会保険料（雇用保険料、共済組合掛金）の自己負担分を控除する。

(2) 勤務形態

専門業務型裁量労働制（週38時間45分相当、1日7時間45分相当）

(3) 休日・休暇

国立大学法人東京外国語大学職員勤務時間、休暇等に関する規程による。

休日：原則として、土曜日、日曜日、国民の祝日及び年末年始（12月29日～1月3日）

ただし、業務の都合上、上記休日を勤務日として勤務することがある。

休暇：年次有給休暇、病気休暇、特別休暇

(4) 社会保険

文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険および労災保険に加入する。

(5) 試用期間

あり（6か月）

(6) 退職手当

支給あり

10. 提出書類

- (1) 履歴書（本学所定様式「履歴書」）

- (2) 研究教育業績一覧（本学所定様式「研究教育業績一覧」）
- (3) 主要研究業績 3点
 - ・いずれも、単著または筆頭著者のものに限ります。
 - ・博士の学位を有している方は、必ず博士論文（博士論文を基にした出版物を含む。）を含めてください。博士学位未取得の方は、取得に向けた具体的な計画書を、上記の主要研究業績とは別に提出してください。
 - ・選考の過程で、追加提出を求めることがあります。
- (4) 主要研究業績の概要（本学所定様式「主要研究業績の概要」各1枚程度）
 - ・上記(3) の主要業績3点それぞれについて、記述してください。
- (5) これまでの教育研究の概要及び今後の教育研究の計画（本学所定様式「これまでの教育研究の概要及び今後の教育研究の計画」2枚以内）
- (6) 本学の教育研究及び業務に携わるにあたっての抱負を日本語（1,000字程度）または英語（400語程度）で述べてください（A4判横書き 様式自由）。
- (7) 応募書（本学所定様式「応募書」）
- (8) 選考過程の中で、参考となる意見を伺える方2名の氏名・所属・職名・メールアドレス（ただし、本学関係者を除く。）

なお、以下の点にご留意ください。

- (1) 提出書類のうち本学所定様式のもの、以下の Web サイトよりダウンロードして作成してください。

<http://www.tufs.ac.jp/other/recruit.html>

- (2) 上記の全ての書類を作成し、(1)、(2)、(4)、(5)、(6)、(7)、(8)の順に通しで1つのPDFファイルにまとめ、ファイル名を「〇〇△△(南アジア言語文化論教員公募).pdf」としてください。

〇〇△△の箇所には応募者の氏名を記載してください。(3)は「〇〇△△主要研究業績1.pdf」のように、それぞれファイル名冒頭に氏名を記載してください。

11. 応募期限

エントリー期限は、2024年4月16日(火)17時00分(日本時間)

提出書類アップロード期限は、2024年4月23日(火)17時00分(日本時間)

12. 応募方法

- (1) 応募者は、25sah@tufs.ac.jpのメールアドレス宛に自らのメールアドレスを記したエントリーメールを送付してください。その際のメールの件名は「エントリー(南アジア言語文化論教員公募)」としてください。

エントリー期限：2024年4月16日(火)17時00分(日本時間)

- (2) エントリーメールの受信後、本学より応募者のメールアドレス宛に提出書類をアップロードするためのURLを通知します。
- ※ エントリーメールの送信後、2日（土日祝日を除く）を経てもアップロードURLが通知されなければ、25sah@tufs.ac.jpのメールアドレス宛に必ず連絡してください。
- (3) PDF化した提出書類を、指定されたURLにアップロードしてください。
- 提出書類のアップロード期限：2024年4月23日（火）17時00分（日本時間）
- ※ アップロード後には本学から受領確認のメールを送付します。アップロード後、2日（土日祝日を除く）を経ても受領確認メールが届かなければ、25sah@tufs.ac.jpのメールアドレス宛に必ず連絡してください。

13. 選考方法

- (1) 選考は、書類審査及び面接により行います。
- (2) 面接は書類審査合格者を対象とし、これに係る経費は応募者の負担とします。なお、面接はオンラインにより実施することもあります。
- (3) 面接の実施にあたっては、事前にシラバス等の提出をお願いし、模擬授業を実施していただきます。
- (4) 面接は、5月下旬に実施する予定です。
- (5) 最終候補者に対しては、9月上旬～中旬に本学役員による面接を実施する予定です。

14. 連絡先

東京外国語大学大学院総合国際学副研究院長 佐野 洋

E-mail : 25sah@tufs.ac.jp

お問合せは上記宛 E-mail に日本語でお願いします。

15. その他

- (1) 本学ホームページの「大学案内」に掲載の「理念と構想」をご覧ください。
<http://www.tufs.ac.jp/abouttufs/overview/>
- (2) テニュア・トラック制規程は、下記のURLを参照してください。
http://www.tufs.ac.jp/common/is/soumu/kitei/09_90_17daigakuin_sougoukokusaigakukenyuuin_tenured-track_kitei.pdf
- (3) 提出書類に含まれる個人情報は、本人事選考以外の目的には利用しません。
- (4) 相当な理由があれば、着任時期について考慮することがあります。
- (5) 本学では男女共同参画を推進しております。
- (6) 受動喫煙を防止するための措置：敷地内禁煙（屋外喫煙場所あり）